



沿道の人々を魅了した伝統芸能「大名行列お奴」

今年の奈良津堤一帯の「桜まつり」は、桜の開花が遅れたため、期間延長してライトアップされ、多くの皆さんが例年より長い期間、美しく咲きほころびた桜を楽しみました。

九日に本町通り一帯で開催された「笠松陣屋市」では、フリーマーケットや即売会などが行われ、大勢の人で賑わいました。特に、商工会青年部の皆さんにより行われた「笠松のピカソ大集合」では、親子で楽しく絵を描いていました。

また、夜には、産霊神社境内で、「宵まつり」が開催され、町内のみこしのあと、マジックショーや抽選会が行われました。

十日には、本まつりオープニングセレモニーが笠松清流太鼓で始まり、町内の保育所や幼稚園の園児による演技や、笠松婦人会による踊りで盛り上がりました。

また、これに引き続き総勢二百人による笠松大名行列がはじまるとお奴の毛槍の妙技に、沿道に詰め掛けた大勢の観客から盛んな拍手がわきあがりました。

その後、町内会自慢の本のみこしや花みこしが町内に繰り出され一日まつりムード一色でした。



「新笠松音頭」を踊る婦人会の皆さん（10日）



宵まつりで練り歩く町内のみこし（産霊神社）



マジックショー（宵まつり）



「笠松のピカソ大集合」で絵を描く子どもたち



大勢の人で賑わったフリーマーケット